

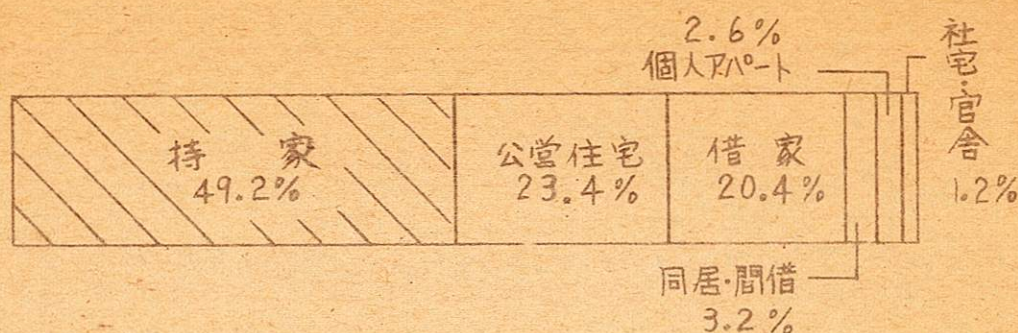
2 結果の概要

1. 住 宅

(住宅の種類)

問3. あなたのお住まいは、つぎのいずれに該当しますか。

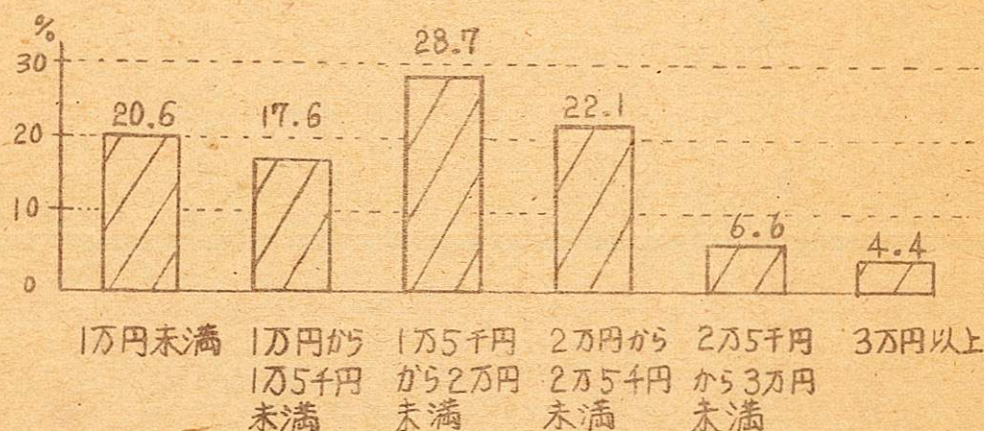
- 「持家」49.2%、「非持家」50.8%とほぼ半数が「持家」で、残りの半数が「借家」、「公営住宅」などの持家以外となっている。



(家賃の状況)

問4. (持家でない方におたずねします) 1ヶ月の家賃はどの位ですか。

- 全体では、「1万円未満」37.8%、「1万円～1万5千円未満」12.6%、「1万5千円～2万円未満」15.8%、「2万円～2万5千円未満」16.1%、「2万5千円～3万円未満」10.6%、「3万円以上」2.4%と「1万円未満」がトップであるが、公営住宅の多い①④⑬⑭地区を除くと、つぎの表のような結果となる。



〔住宅の困窮状況〕

問5. あなたは、現在住宅に困っていますか。

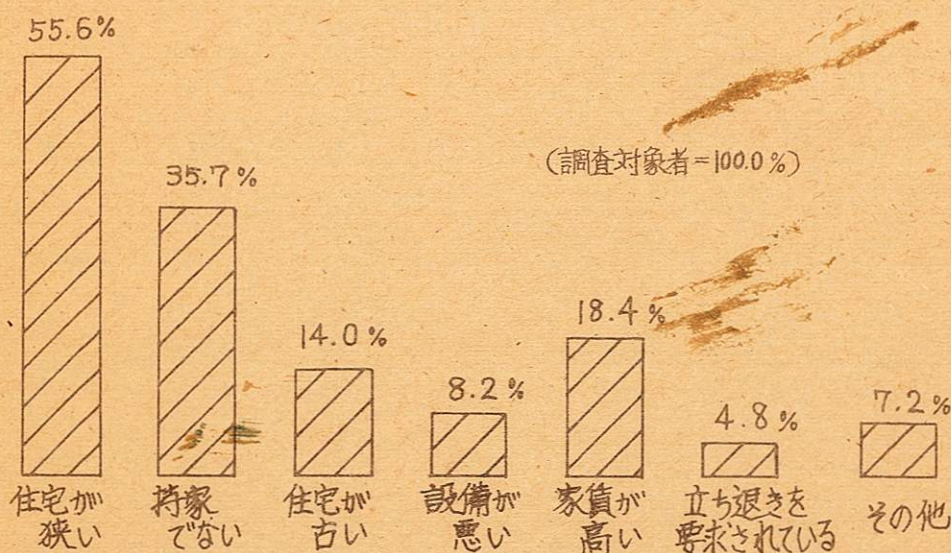
- 住宅の困窮状況では、全体の41.4%の方が何らかの理由で困っていると答えている。

住宅に困っている 41.4%	住宅に困っていない 46.8%	無回答 11.8%
-------------------	--------------------	--------------

〔住宅の困窮理由〕

問6. (困っていると答えた方におたずねします。) その理由は下記のどれですか。

- 困っている理由については、「住宅が狭い」と答えた方が55.6%でもっとも高く、ついで「持家でない」35.7%、「家賃が高い」18.4%、「住宅が古い」14.0%、「設備が悪い」8.2%、「立ち退きを要求されている」4.8%の順となっている。



2. 生活環境

〔生活環境の評価〕

問7. あなたは、居住地近辺の環境について、どのようにお感じですか。

①排水の状態について			②道路の整備状況について		
	定数	構成比		定数	構成比
1. よい	123	24.6	1. よい	142	28.4
2. ふつう	173	34.6	2. ふつう	246	49.2
3. わるい	191	38.2	3. わるい	101	20.2
無回答	13	2.6	無回答	11	2.2
計	500人	100%	計	500人	100%

③衛生環境(ゴミ、カ、ハエ)について			④交通事故の危険性について		
	定数	構成比		定数	構成比
1. よい	90	18.0	1. 危険はない	42	8.4
2. ふつう	256	51.2	2. ふつう	228	45.6
3. わるい	144	28.8	3. 危険	220	44.0
無回答	10	2.0	無回答	10	2.0
計	500人	100%	計	500人	100%

⑤子供の遊び場について			⑥災害の危険性について		
	定数	構成比		定数	構成比
1. よい	97	19.4	1. 危険はない	98	19.6
2. ふつう	172	34.4	2. ふつう	293	58.6
3. わるい	216	43.2	3. 危険	100	20.0
無回答	15	3.0	無回答	9	1.8
計	500人	100%	計	500人	100%

- 6の項目について、生活環境評価をくだしてもらった。6項目のなかで「よい」という評価は低く、「道路の整備状況」、「衛生環境」、「交通事故の危険性」、「災害の危険性」の4項目については、「ふつう」という評価が高く、「わるい」という評価が高かったのは、「排水の状態」、「子供の遊び場」の2項目である。

- 各項目別に各地区をみた場合、「排水の状態」についてオ1、13、14地区の団地等においては、排水施設が完備されていることから「よい」という結果となっている。しかし、他の地区においては、「よい」という評価は低く、オ2、3、5、11地区では50%以上の方が、「わるい」と評価をくだしている。特にオ3地区では、他地区を大幅にうめまめる80%の方が「わるい」としている。

なお、オ7、9地区においては、図-1で「よい」という評価のみが全地区の「よい」という評価の平均をこしているものの、「よい」、「ふつう」、「わるい」の評価が平均しており、排水の状態に満足している地区とはいえない。

- 「道路の整備状況」について、オ1、2、3、4、5、9、10の7地区において、50%以上の方が「ふつう」と評価している。また、50%をうめまめって「わるい」と評価している地区はないが、オ3地区において、他地区をうめまめる42%の方が「わるい」としていることはみのがせない。

なお、オ6、7地区において図-2で「よい」という評価のみが全地区の「よい」という評価の平均をこえているものの、「ふつう」という評価も40%以上であり、道路の整備状況について満足している地区とはいえないであろう。

また、オ8、11、12地区においても、「わるい」という評価のみが「わるい」の全地区平均をこえているが、「ふつう」と答えた方が40%おり、この3地区が特別、道路の整備状況のわるい地区とはいえない。

- 「衛生環境(ゴミ)(カ)(ハエ)」について、オ1、3、4、5、6、8、9、12、13の9地区において50%以上の方が「ふつう」と評価している。逆に、「わるい」という評価が50%をこえている地区は、オ11地区のみである。

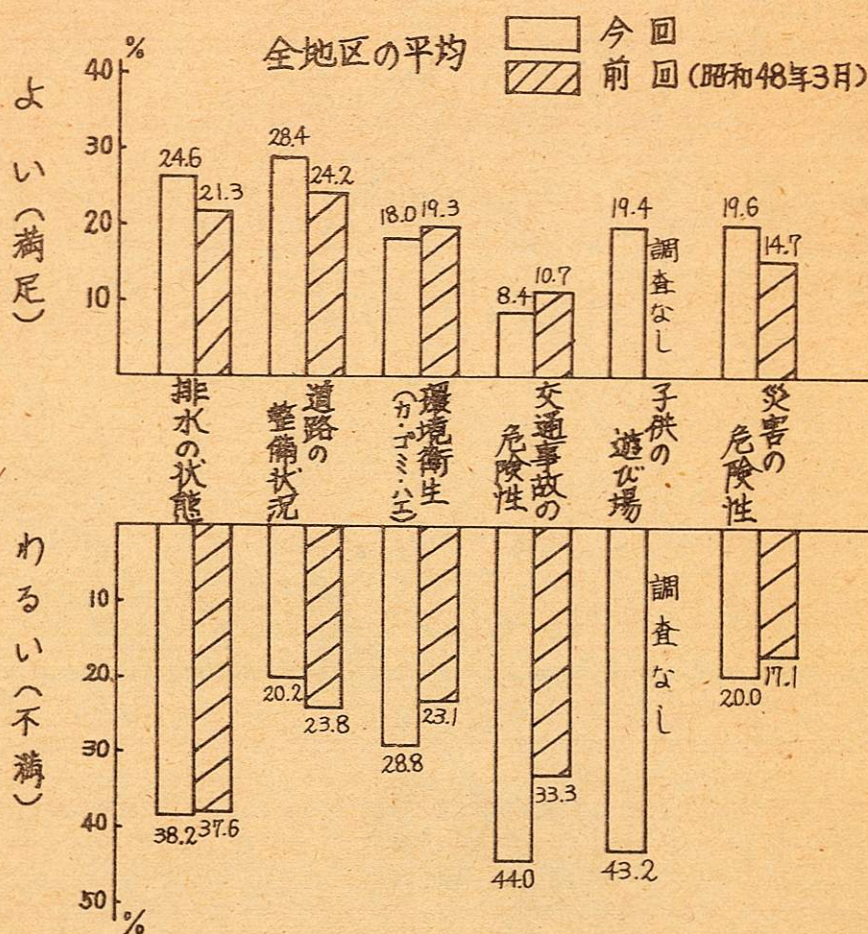
なお、オ10、12地区において図-3で「わるい」という評価のみが、「わるい」の全地区平均をうめまわっているものの、「ふつう」と評価した方が40%以上おり、特別にわるい地区とはいえない。

○ 「交通事故の危険性」について、「危険」と答えた方が50%以上の地区は、第3、4、5、11、14の5地区で、五日市街道、国道16号線、奥多摩街道沿線の地区に多い。また、「ふつう」と答えた方が50%以上の地区は、第1、6、9、12の4地区である。

○ 「子供の遊び場」について、50%以上の方が「よい」と評価している地区は、第13、14のわずか2地区だけで、50%以上の方が「わるい」と評価している地区は、第3、5、7、8、11の5地区ある。

特に、第3、8の2地区においては、約80%の方が「わるい」と評価している。

○ 「災害の危険性」について、「危険はない」、「危険」が50%以上の地区はなく、第1、3、4、5、6、7、8、9、10、12、13、14の12地区において、50%以上の方が「ふつう」と評価している状況である。



〔排水の状態〕について

(ふい)の全地区平均	24.6%
(ふつう)の " "	34.6%
(わるい)の " "	38.2%

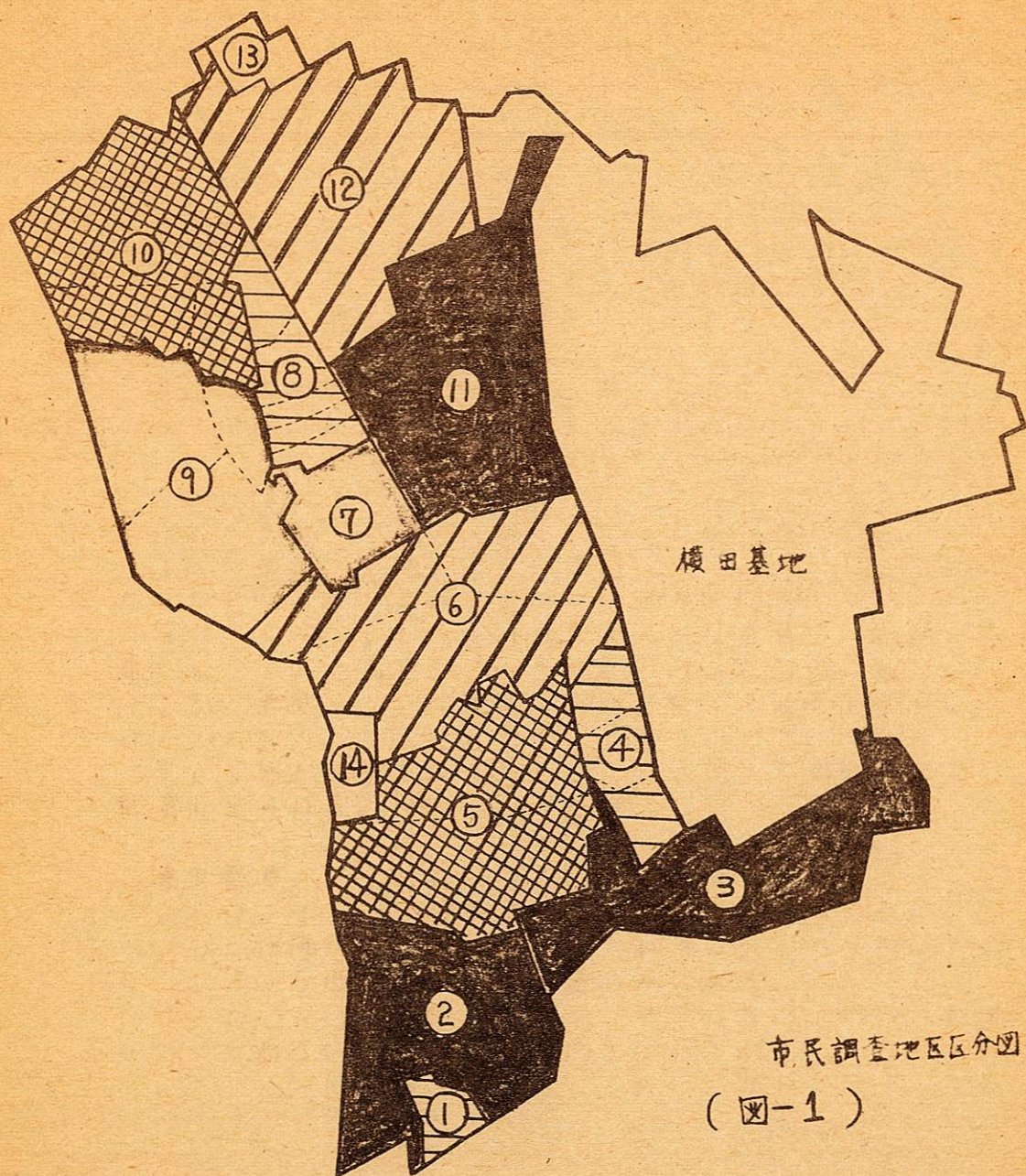
□ (ふい)のみが平均以上

■ (わるい)のみが平均以上

▨ (ふい)と(ふつう)が " "

▩ (わるい)と(ふつう)が " "

▧ (ふつう)のみが " "



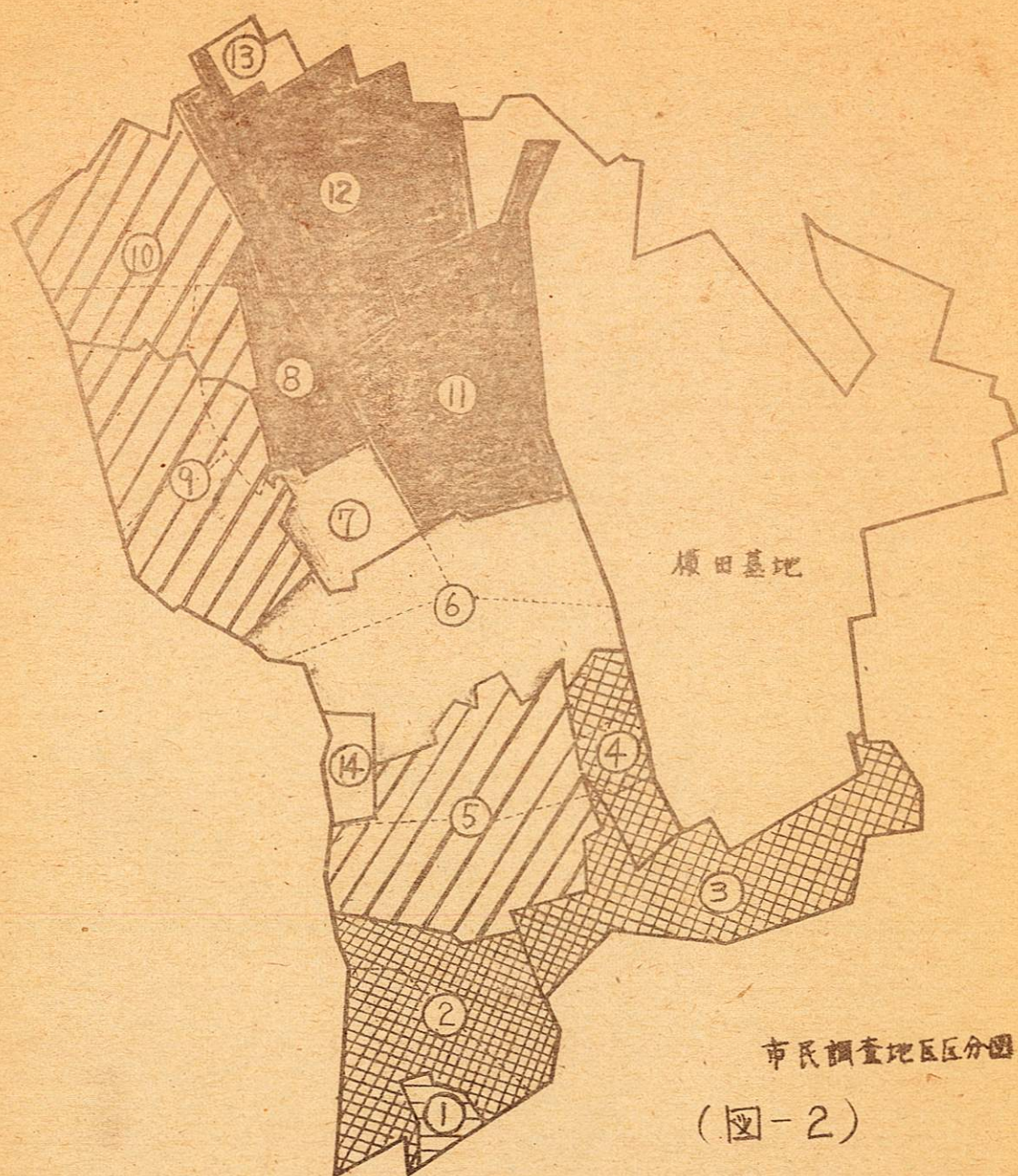
市民調査地区区分図
(図-1)

(道路の整備状況)について

(よい)の全地区平均 28.4 %
 (ふつう)の " " 49.2 %
 (わるい)の " " 20.2 %

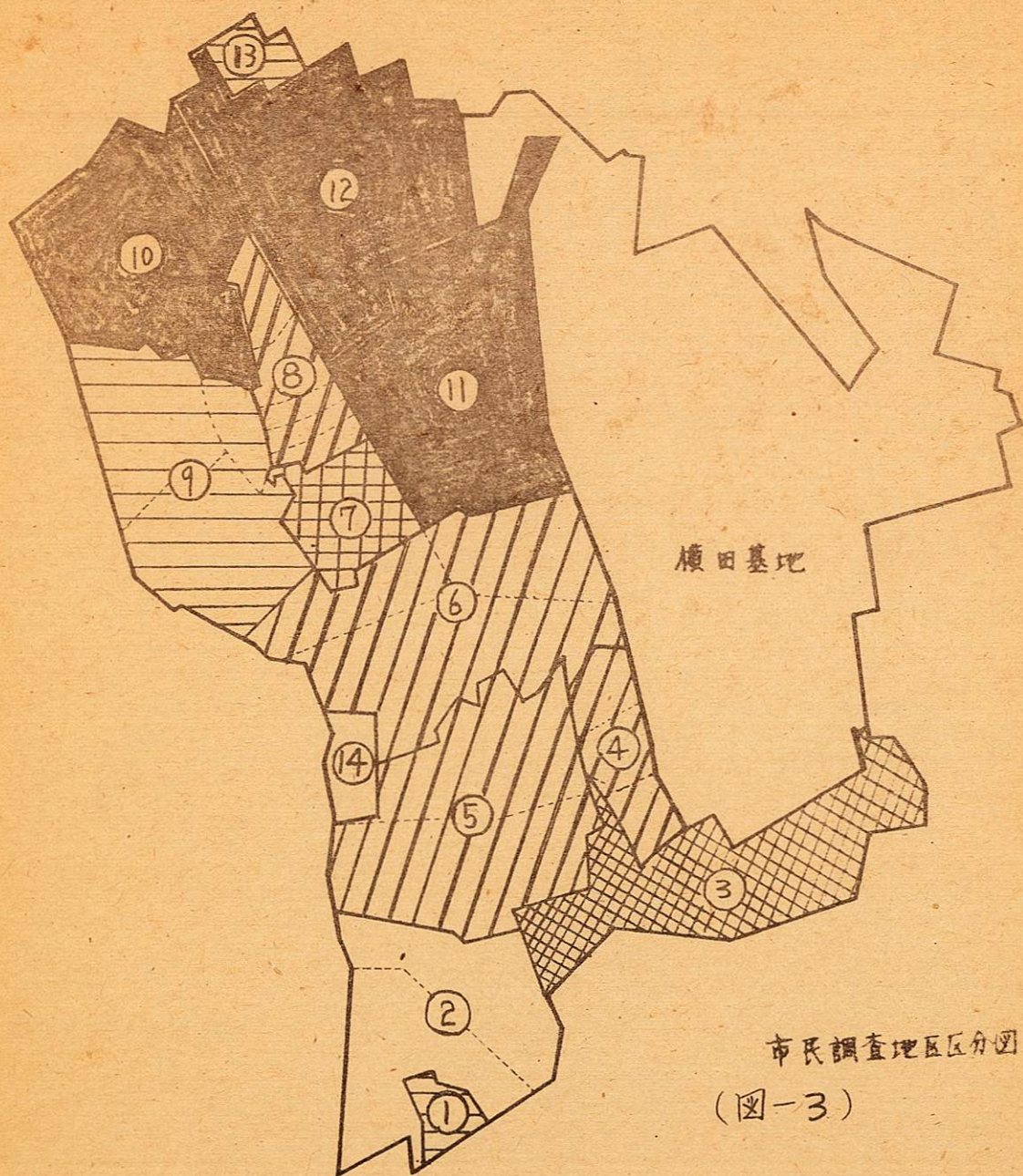
□ (よい)のみが平均以上
 ▨ (よい)と(ふつう)が平均以上
 ▩ (ふつう)のみが平均以上

■ (わるい)のみが平均以上
 ▩ (わるい)と(ふつう)が " "

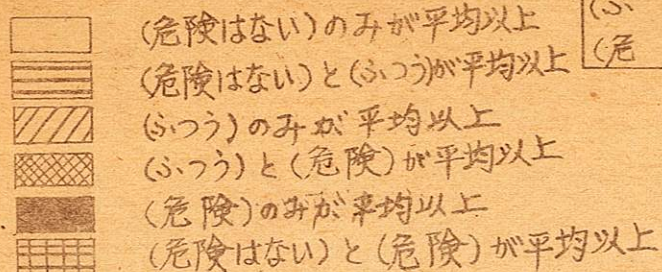


(衛生環境(ゴミ・カ・ハエ))について

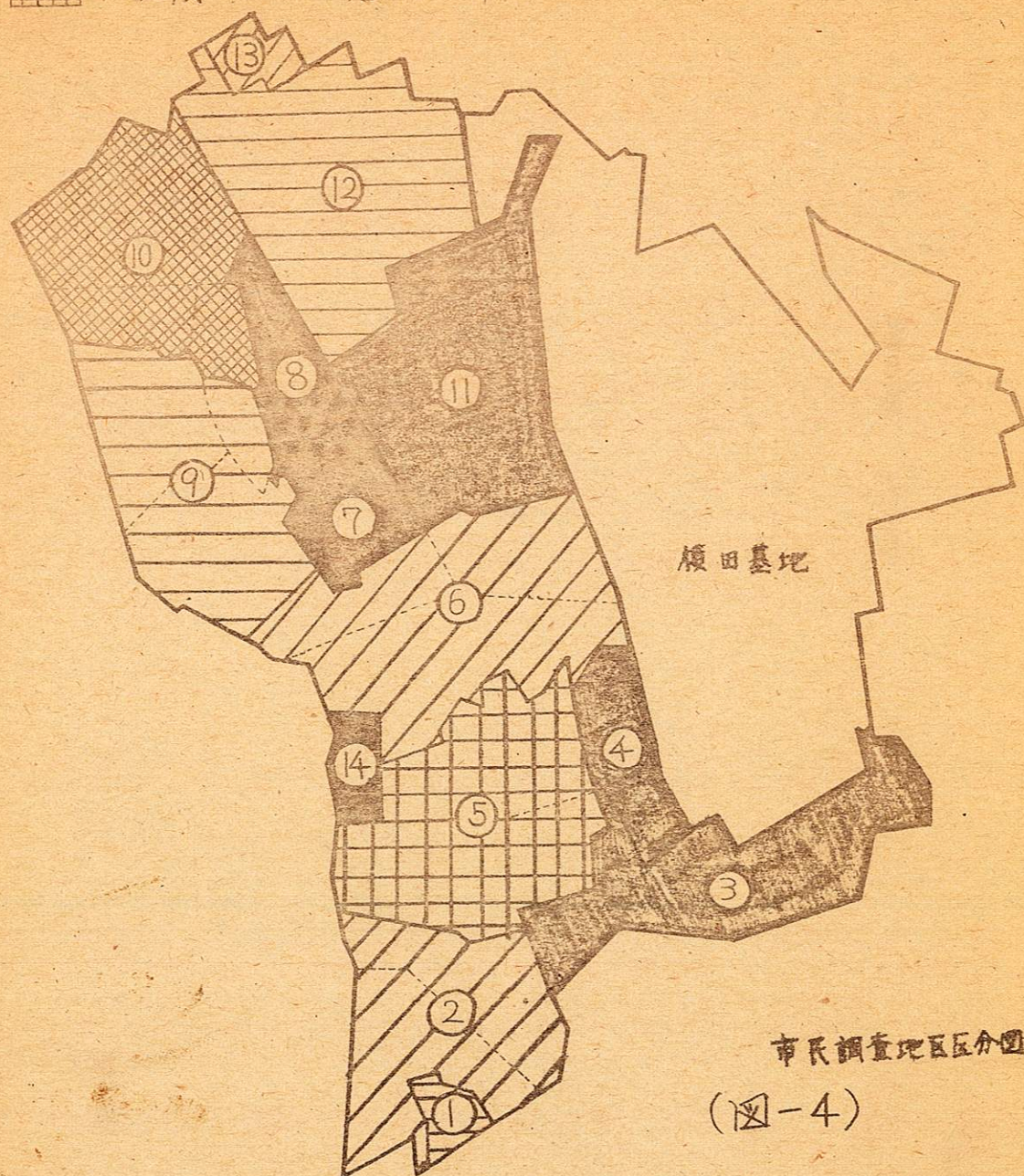
(はい)の全地区平均 18.0%
 (ふつう)の " " 51.2%
 (わるい)の " " 28.8%



[交通事故の危険性]について



(危険はない)の全地区平均	8.4%
(ふ　　う)の全地区平均	45.6%
(危　　険)の全地区平均	44.0%

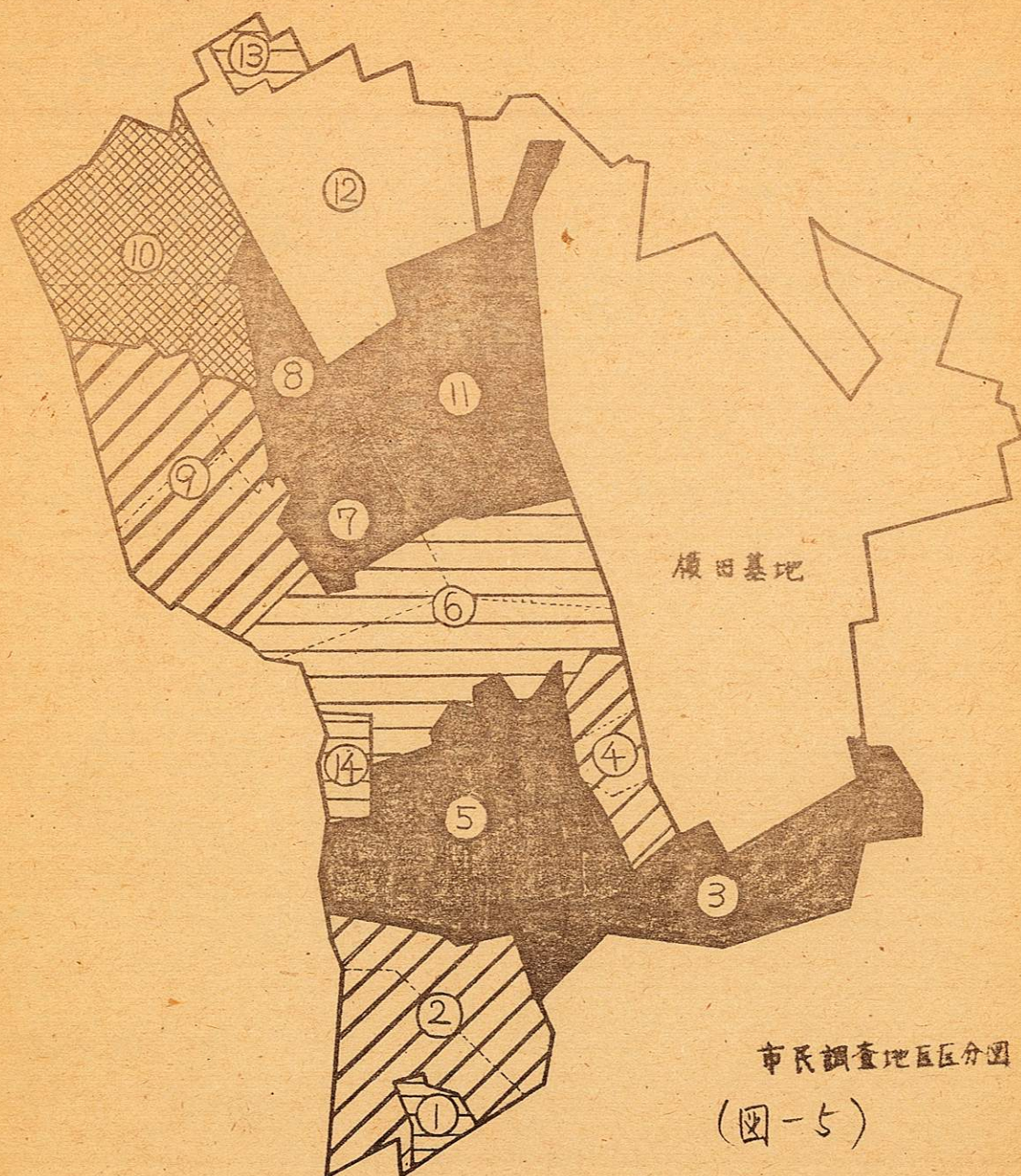


市民調査地区区分図
(図-4)

〔子供の遊び場〕について

-  (よい)のみが平均以上
-  (よい)と(ふつう)が平均以上
-  (ふつう)のみが平均以上
-  (ふつう)と(わるい)が平均以上
-  (わるい)が平均以上

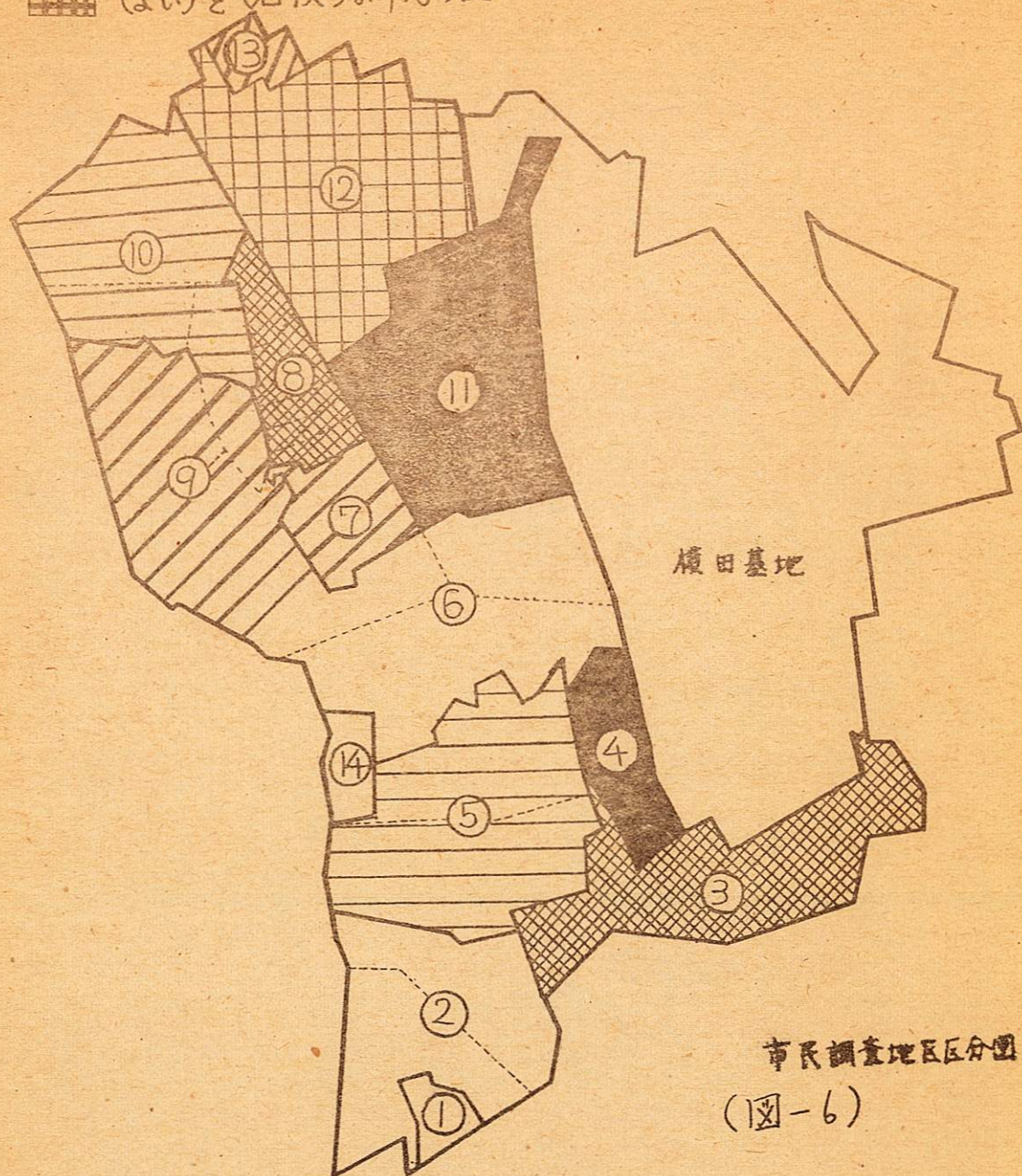
(よい)の全地区平均	19.4%
(ふつう)の全地区平均	34.4%
(わるい)の全地区平均	43.2%



〔災害の危険性〕について

-  (危険はない)のみが平均以上
-  (危険はない)と(ふつう)が平均以上
-  (ふつう)のみが平均以上
-  (ふつう)と(危険)が平均以上
-  (危険)が平均以上
-  (よい)と(危険)が平均以上

(危険はない)の全地区平均	19.6%
(ふつう)の全地区平均	58.6%
(危険)の全地区平均	20.0%

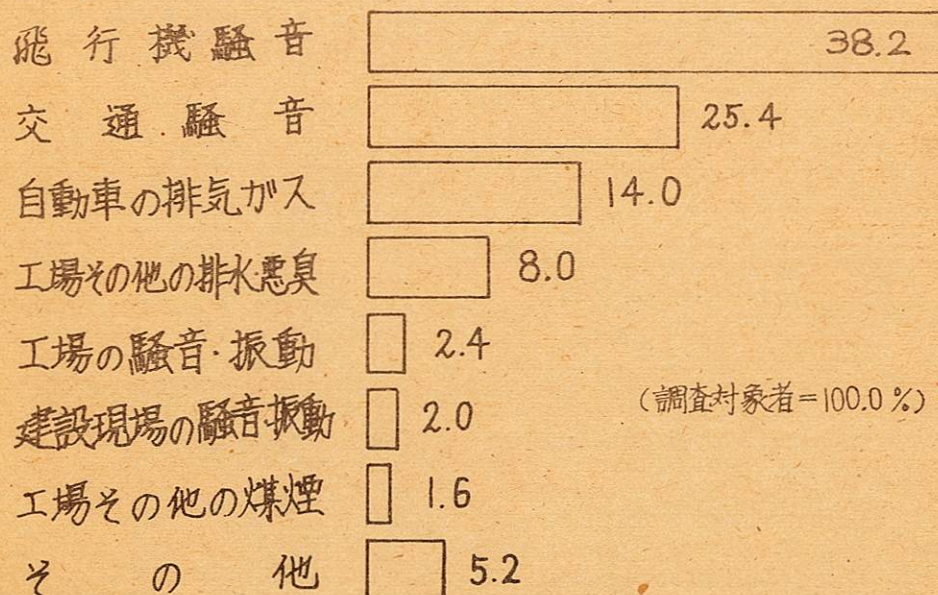
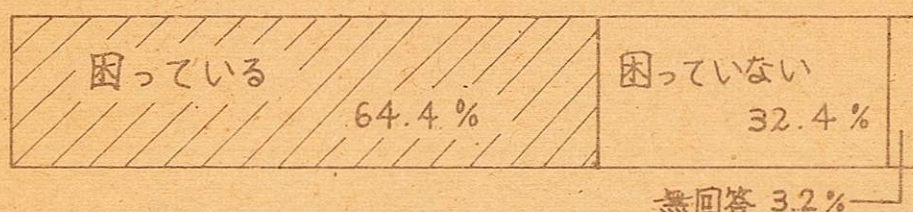


市民調査地区区分図
(図-6)

〔公害に対する認識と現状〕

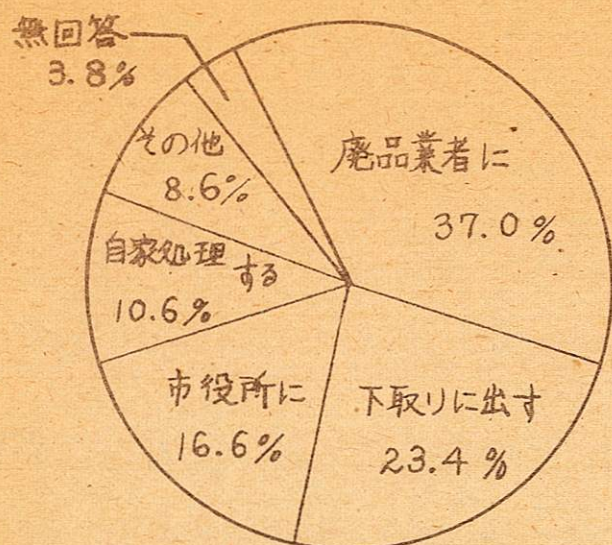
問8. つぎにあげたものが、一般に公害と考えられていますが、日常あなたが特に困っているものがありますか。

- 「特に困っていない」と答えた方が32.4%、「困っている」と答えた方が64.4%、無回答3.2%となっている。困っている方の被害の内容は、基地公害が圧倒的で「飛行機騒音」38.2%、次いで交通関係の公害「交通騒音」25.4%、「自動車の排気ガス」14.0%である。
- 「飛行機騒音」については、離着陸地点に近い地域で困っている方が多く、また基地から一番はなれている夕摩川べりの地区においても大変多くの方が困っていると答えている。



〔ごみの処理〕

問9. お宅では、粗大ゴミ(テレビ、洗濯機、家具などの廃品など)を主にどのように処理していますか。



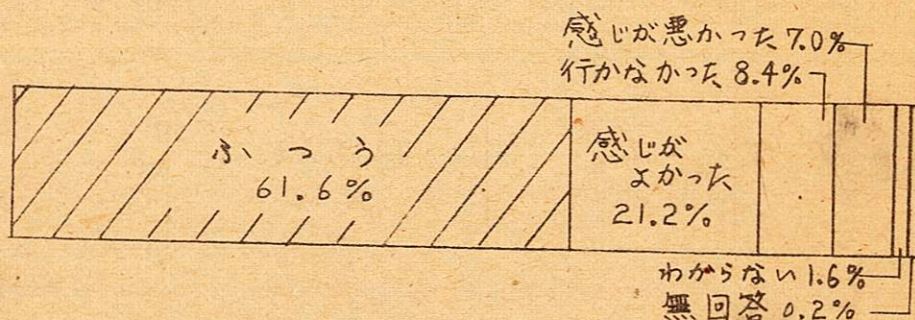
○ 粗大ゴミの処理状況については、79.6%の家庭が市役所に依存せず、各家庭で何らかの処理をしていることがうかがえる。

3. 市役所の窓口

〔職員の応対態度の評価〕

問10. この1年間に市役所においでになったときの、職員の応対態度はいかがでしたか。

○ 市役所に来た方の半数以上が、職員の応対態度について「ふっう」と答えている。これから、ほとんどの方に「感じがよかった」と評価されるよう努力すべきである。



4. 広報・広聴

〔市の仕事に対する評価、不満の伝達状況〕

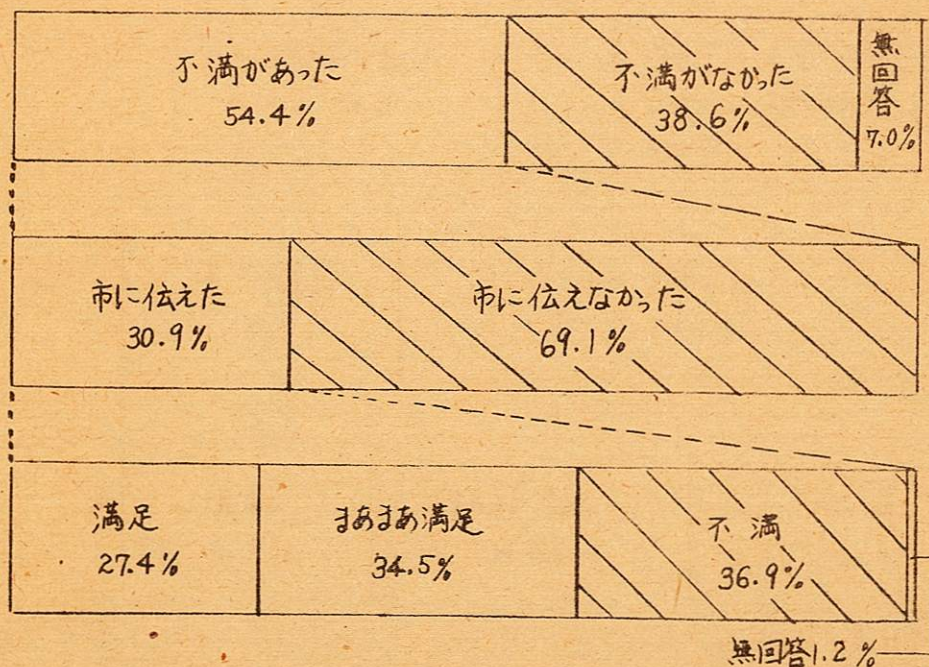
問11. あなたは、市の仕事について不満があったとき、それを市に伝えましたか。

- 「不満がなかった」と答えた方が38.6%、無回答7.0%であり、残り54.4%が「不満があった」としている。
- 「不満があった」方が、そのことを市に伝えたかどうかについては、「伝えた」方が30.9%、「伝えなかった」方が69.1%である。

〔不満の伝達結果〕

問12. (伝えたという方におたずねします。) その結果は、どうでしたか。

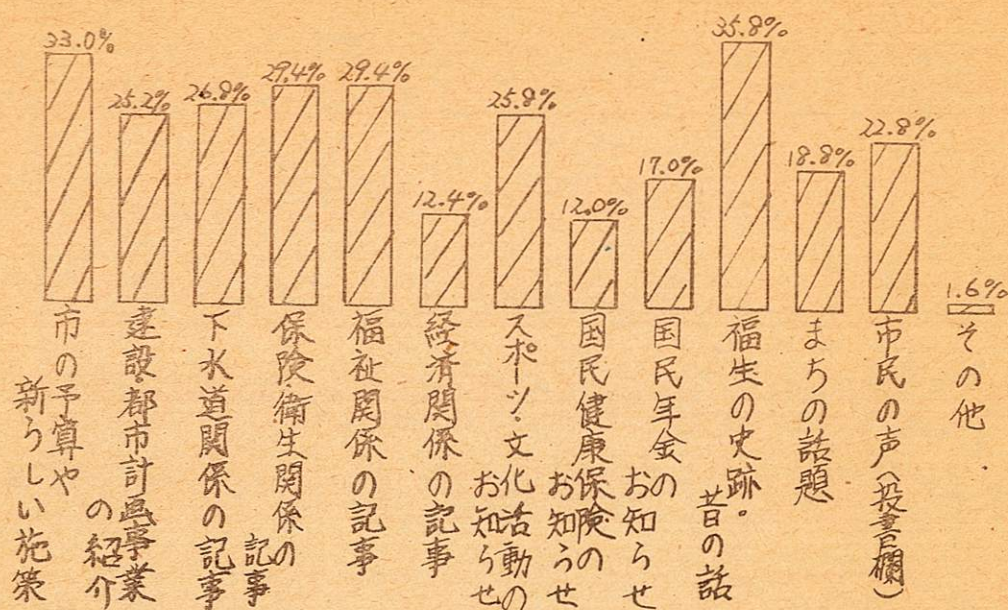
- 伝えた結果については、伝えた方の27.4%が「満足」、34.5%が「まあまあ満足」、36.9%が「不満」としており、伝えた方の半数以上が満足していることがうかがえる。



（「広報ふっさ」に対する関心記事）

問14. 毎月1回「広報ふっさ」という広報紙を発行していますが、記事の中であなたが特に関心をもっているのはどれですか。

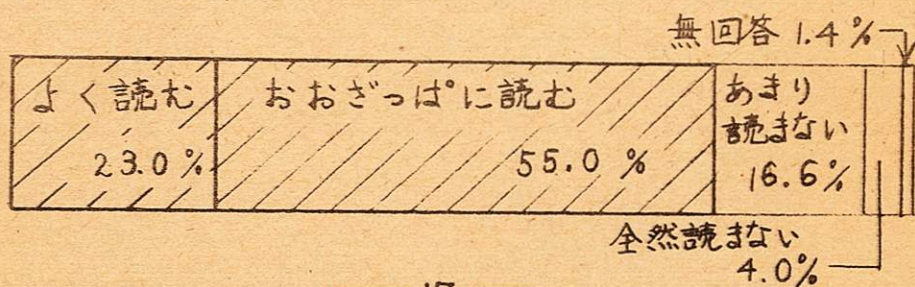
- 「福生の史跡、昔の話し」が35.8%で第1位、以下「市の予算や新しい施策」が33.0%、「保健衛生関係記事」、「福祉関係の記事」が29.4%、「下水道関係の記事」が26.8%の順となっている。



（議会報の熟知度）

問15. 市議会では、年4回「議会報ふっさ」という広報紙を発行していますが、あなたは、それをお読みになっていますか。

- 「よく読む」、「おおざっぱに読む」をあわせると78%の方が議会報を読んでおり、「議会報ふっさ」の熟知度は高い。

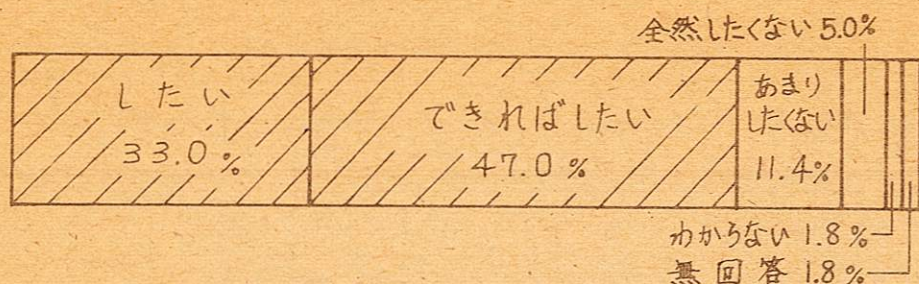


5. 社会教育

〔スポーツへの関心度〕

問18. あなたは、日頃、スポーツをしたいと思っていますか。

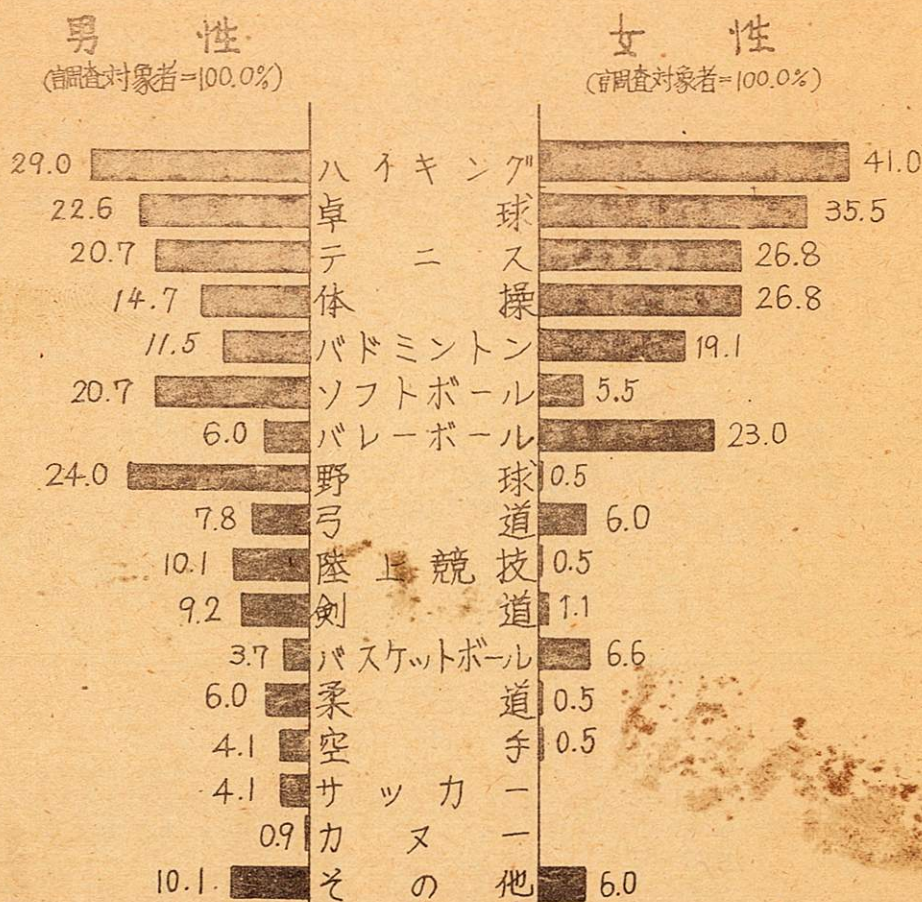
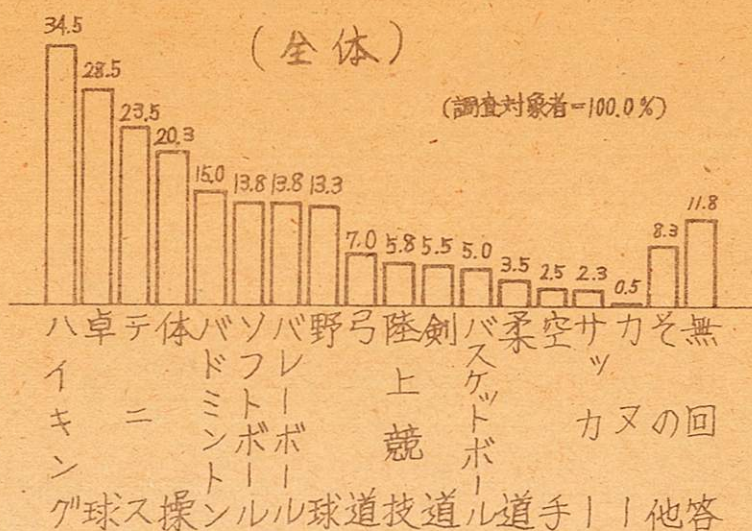
- 「したい」、「できればしたい」と答えた方が80%と、スポーツに対する関心が大変高い。



〔やってみたいスポーツ〕

問19. (したい、できればしたいと答えた方におたずねします) したいと思っているスポーツは、何ですか。

- 全体では、「ハイキング」、「卓球」、「テニス」、「体操」、「バドミントン」の順となっている。
- 男性では、「ハイキング」、「野球」、「卓球」、「テニス」の順で、年齢別では、20代では、トップが「野球」、次いで「ハイキング」、「テニス」、30代では、「野球」、「テニス」、「卓球」と20代、30代では、野球をしたいという方が一番多く、40代では、「ハイキング」、「卓球」、50代では、「ハイキング」、「ソフトボール」、60代では、「ハイキング」、「弓道」と、40代以上の方になるとハイキングが多くなっています。
- 女性では、トップが「ハイキング」、次いで「卓球」、「テニス」、「体操」、「バレーボール」の順で、年齢別では、20代では、「ハイキング」、「卓球」、30代では、「ハイキング」、「卓球」、40代では、「体操」、「卓球」、50代では、「ハイキング」と、20代、30代、50代では、ハイキングが一番多く、40代の方が体操と答えています。

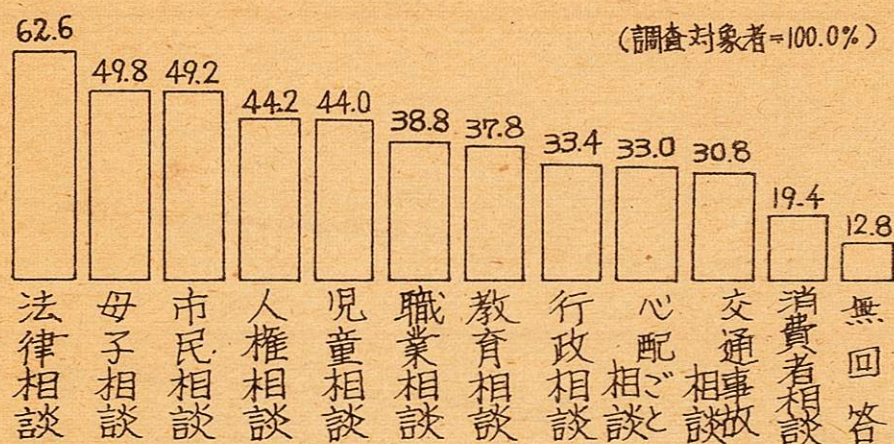


6. 市政全般

〔相談業務の知名度〕

問13、市では、いろいろな相談を行っていますが、つぎにかかげたもののうち、あなたが知っているものに○をつけてください。

- 40%以上の方に知られている相談は、「法律相談」、「母子相談」、「市民相談」、「人権相談」、「児童相談」であり、余り知られていない相談は、「消費者相談」19.4%である。どの相談も充分知られているとはいえないので、今後、もっとPRをする必要があると思われる。



〔市の施策の知名度〕

問16、市では、いろいろな施策を行っていますが、つぎにかかげたもののうち、あなたが知っているものに○をつけてください。

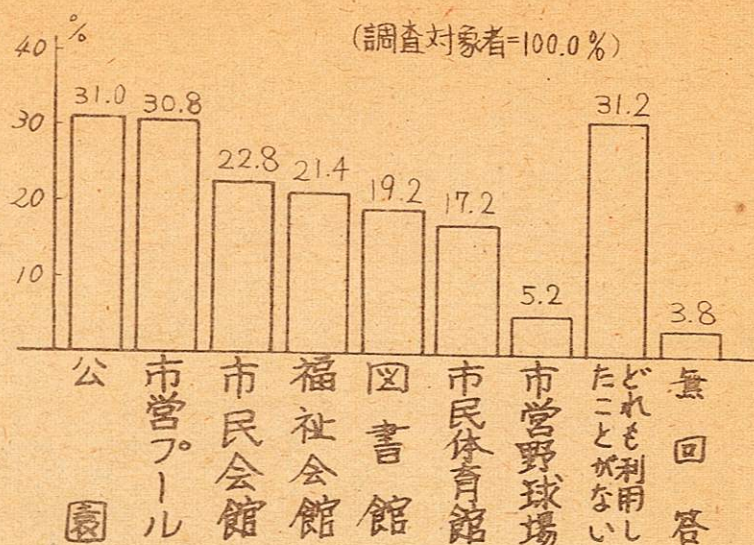
- 40%以上の方に知られている施策は、「胃がん検診」、「成人病検診」、「市内施設、工場見学会」であり、余り知られていない施策は、「私道整備の工事費補助」12%、「夜間、休日広聴電話」の3.8%と最も低い。今後、機会をとらえてPRしていく必要がある。



〔施設の利用度〕

問17. つぎにあげた市内の施設で、この1年間にあなたが利用したことのあるのは、どれですか。利用したものには、○をつけてください。

- 施設の利用については、80.8%の方がどれかしらの施設を利用していると答えている。その中で、公園が一番利用されており、次いで市営プール、市民会館、図書館、市民体育館の順となっている。



〔重点施策への要望〕

問20. 市政全般をみて、今、あなたが市に対して、特に力をいれたいと思うことを、3つ以内選んで、○をつけてください。

- 市民の要望の上位は、①「下水道の布設」、②「住宅対策」、③「児童施設の増設」、④「公園、緑地、スポーツ施設の増設」、⑤「民生福祉の充実」であり、前回の調査と比較すると、下水道対策、住宅対策、児童施設の増設、公園、緑地、スポーツ施設の増設に対する要望は、前回に引き続き、強い要望になっている。
- 地区別では、全体的に大差はないが、茅子地区では「下水道の布設」に対して、また、茅14地区では、基地対策が他地区にくらべ多くの要望がでている。

(オ1地区)

1. 住宅対策
2. 公園緑地スポーツ施設の増設
3. 児童施設の増設
4. 基地対策
5. 市民サービス・能率向上

(オ2地区)

1. 下水道の布設
2. 児童施設の増設
3. 道路整備
4. 住宅対策
5. 公園緑地スポーツ施設の増設

(オ3地区)

1. 下水道の布設
2. 公園緑地スポーツ施設の増設
3. 道路整備
4. 児童施設の増設
5. 基地対策

(オ4地区)

1. 児童施設の増設
2. 下水道の布設
3. 基地対策
4. 住宅対策
5. 青少年対策

(オ5地区)

1. 下水道の布設
2. 児童施設の増設
3. 住宅対策
4. 民生福祉の向上
5. 公園緑地スポーツ施設の増設

(オ6地区)

1. 下水道の布設
2. 住宅対策
3. 公園緑地スポーツ施設の増設
4. 児童施設の増設
5. 学校教育の充実

(オ7地区)

1. 公園緑地スポーツ施設の増設
2. 下水道の布設
3. 文化教育施設の整備
4. 治安風紀対策
5. 児童施設の増設

(オ8地区)

1. 公園緑地スポーツ施設の増設
2. 下水道の布設
3. 児童施設の増設
4. 民生福祉の向上
5. 道路整備

(オ9地区)

1. 下水道の布設
2. 住宅対策
3. 公園緑地スポーツ施設の増設
4. 児童施設の増設
5. 学校教育の充実

(オ10地区)

1. 下水道の布設
2. 住宅対策
3. 民生福祉の向上
4. 公園緑地スポーツ施設の増設
5. 児童施設の増設

(オ11地区)

1. 住宅対策
2. 下水道の布設
3. 児童施設の増設
4. 公園緑地スポーツ施設の増設
5. 治安風紀対策

(オ12地区)

1. 住宅対策
2. 下水道の布設
3. 道路整備
4. 公園緑地スポーツ施設の増設
5. 清掃事業・美化運動の強化

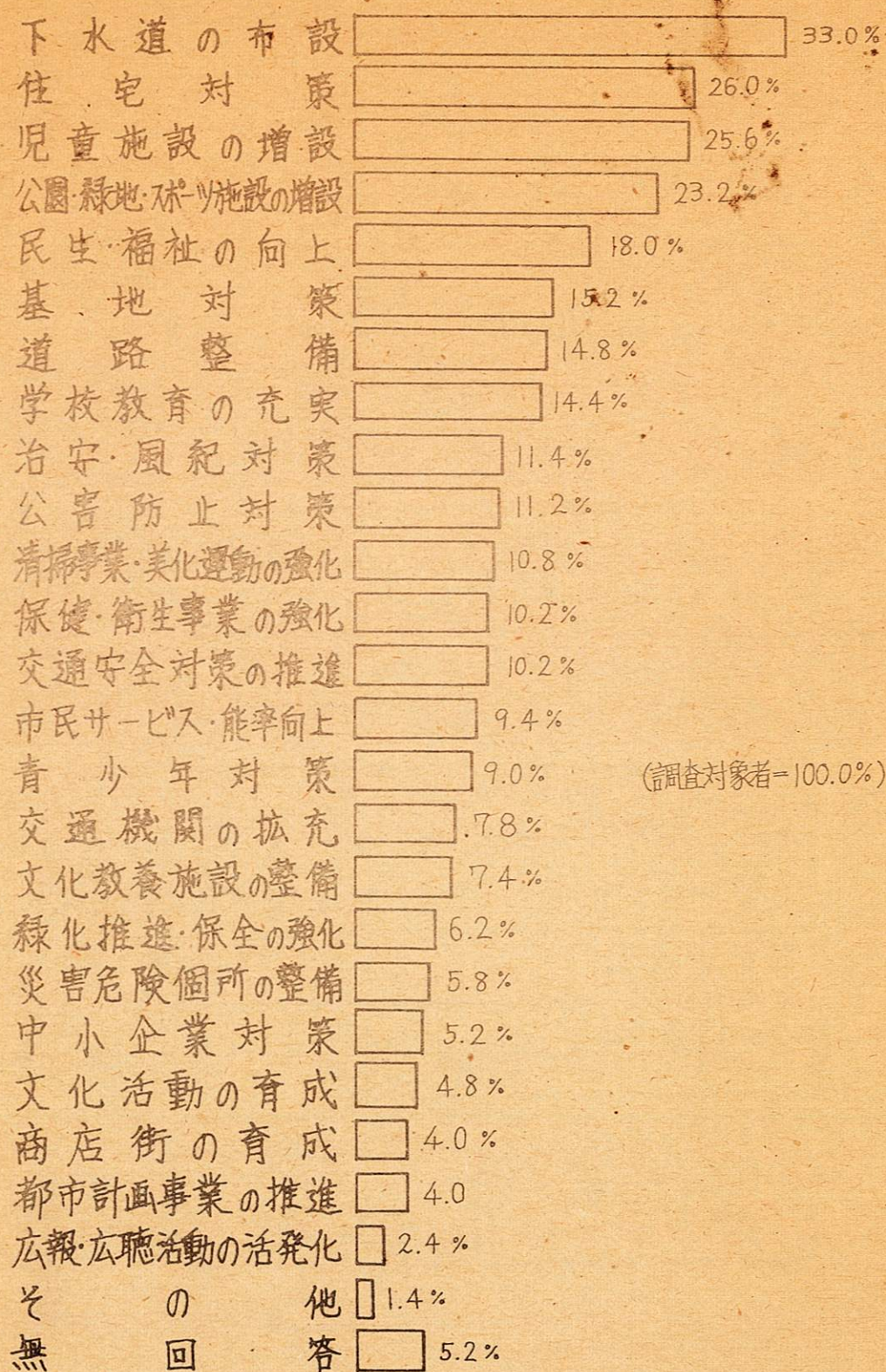
(オ13地区)

1. 児童施設の増設
2. 住宅対策
3. 基地対策
4. 公園緑地スポーツ施設の増設
5. 民生福祉の向上

(オ14地区)

1. 基地対策
2. 公害防止対策
3. 交通機関の充実
4. 児童施設の増設
5. 治安風紀対策

()内は、同率であることを示す。



7. 購買行動の実態

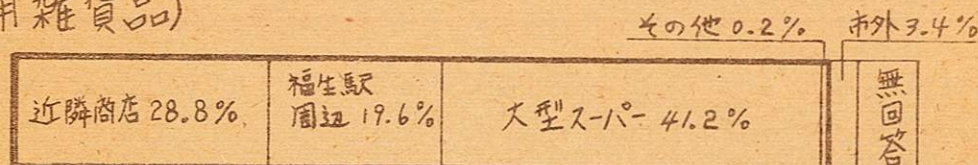
問21. お宅では、まとして、つぎのようなものを、どこでお買いになりますか。該当する欄に1つだけ、○印をつけてください。

- 食料品、日用雑貨品については、約90%の方が、衣料品、家具、時計、電機器具については、60%の方が市内で買い物をしており、贈答品になると市外で買われる方が48.6%と、市内で買い物する方よりも多くなっています。
- 食料品、日用雑貨品については、市内で買い物をする方の約50%が大型スーパーを利用している。衣料品、家具、時計、電機器具については、約50%の方が福生駅周辺の店を利用していると答えている。また、贈答品については、市外で買い物する方の半数以上が立川市で買い物すると答えている。

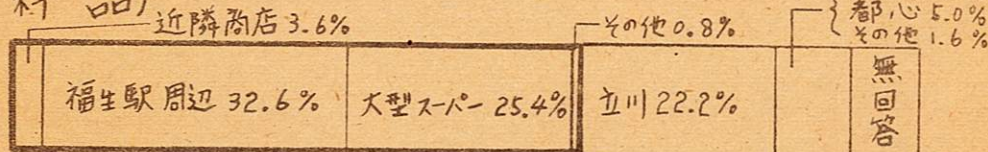
(食料品)



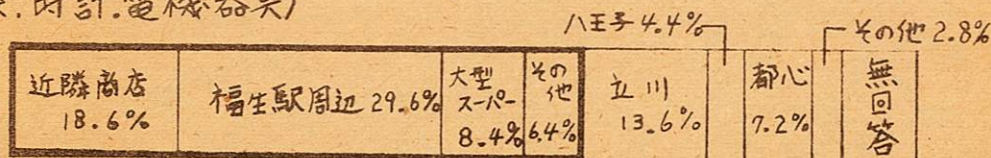
(日用雑貨品)



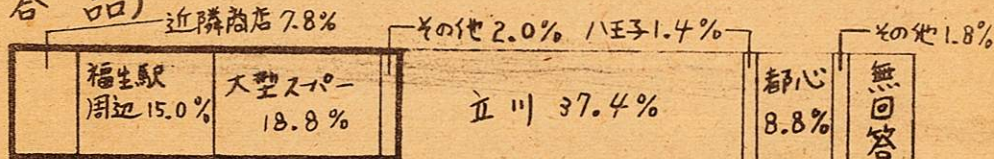
(衣料品)



(家具、時計、電機器具)



(贈答品)



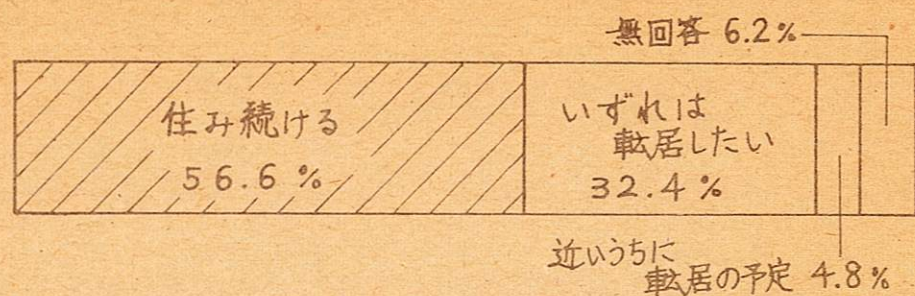
■ 市内 □ 市外

8. 居住意識

〔永住意思〕

問23. あなたは、現在お住まいのところから、転居しようとお考えですか。

- この結果から見ると、半数以上の56.6%の方が「住み続ける」と答え、37.2%の方が「いずれは転居したい」、「近いうちに転居予定」と答えている。



〔永住しない理由〕

問24. (いずれ転居したい、近いうちに転居する予定と答えた方におたずねします。) その理由を記入してください。

- 永住しない理由のなかで多数を占めたのは、家が狭い、家賃が高い、借地、借家などの住宅問題の37.6%、次いで通勤、生活等に不便、騒音問題、日照問題などの環境問題で28.5%、持家希望24.2%の順となっている。

